

2学期始まる

2学期始業式が行われました。校長の訓話で、大切なのは過去に何をしたかではなく、今何ができるかであること、そして今できることを授業や部活動を通して増やして行って欲しいとありました。その後、進路指導と生徒指導から二学期に向けての注意がありました。



3年生はいよいよ自分の進路を決める大切な学期になります。

「つよい津幡」の生徒として胸を張ってそれぞれの進学・就職試験に向かっていくことを期待しています。

なぎなた競技 (大阪府立体育館)



予選リーグ戦績

- 津幡×関西福祉 (大阪)
- 津幡×札幌国際情報 (北海道)

順調に予選を勝ち上がり全国16になり、エイトをかけたの戦いで会津若松ザベリオ学園(福島)に0-1で敗れました。赤倉監督談：今回の全国大会における目標は、全国選抜大会でのベスト16以上の成績を残すことでしたが、決勝トーナメント1回戦敗退でエイトの壁を越えることができませんでした。全国入賞という壁はまだ高く、全国入賞をめざし日々の練習に頑張らなければと、気持ちを新たにしました。

エイトをかけたの戦いで会津若松ザベリオ学園(福島)に0-1で敗れました。赤倉監督談：今回の全国大会における目標は、全国選抜大会でのベスト16以上の成績を残すことでしたが、決勝トーナメント1回戦敗退でエイトの壁を越えることができませんでした。全国入賞という壁はまだ高く、全国入賞をめざし日々の練習に頑張らなければと、気持ちを新たにしました。

風になれ今青春が走り出す 近畿インターハイ結果

7月28日から近畿2府4県で開催された高校総体(インターハイ)には本校から6競技が参加しました。その中で、天理大学で開催された柔道競技において、男子個人60kg級長原万宗君(3年)と100kg超級上野翔平君(3年)が共に5位入賞を果たしました。また、なぎなた部は団体戦で予選リーグを勝ち上がり、ベスト16に入りました。

長原万宗選手 (60kg級 内灘中出身)



減量に苦しみながら臨んだインターハイ個人戦でした。2回戦を僅差で勝利すると、3回戦は開始直後に鮮やかな裏投げを放ち、見事な一本勝ちを収め、5位に入賞することができました。地道な努力の成果ができました。大学でさらに技を磨く予定です。

上野翔平選手 (100kg超級 松陽中出身)



全国上位入賞を期待され、意気込んでインターハイの舞台に上がりました。2回戦、3回戦を順調に勝ち進んだものの、準々決勝戦、開催地・奈良の選手に内股を透かされてインターハイは5位入賞に終わりました。最後の大会、全日本ジュニアで北陸代表として再び全国頂点を目指します。

総合学科体験入学 8月21日(金)

学校説明の後、部活動紹介、模擬授業と続きました。花と緑、ビジネス、人文国際、自然科学系列について学びました。それぞれの系列の特色を知り、何が高校で学べるかを知る一助となったようです。



スポーツ健康学科体験入学 8月25日(火)

北陸3県に1校しかないスポーツ健康科学科とはどのようなものかの説明を受けた後、主に部活動の体験をおこないました。特に集団演技では先輩のそろった動きに驚きの声があがっていました。

